

2020年3月2日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



「太陽生命少子高齢社会研究所」の設立

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、2020年4月1日に当社の100%子会社として「株式会社太陽生命少子高齢社会研究所」を設立することをお知らせいたします。

2019年の日本国内の出生者数は90万人を下回ることが推計され^(※1)、少子化により総人口が減少する一方で、65歳以上のシニアの人口は増加を続け、2025年には総人口の約30%を占めることが見込まれるなど^(※2)、わが国は類を見ない超高齢社会を迎えています。このような社会環境の変化にともない、「少子化対策」および「健康寿命の延伸」が大きな社会的課題となっています。

当社ではそうした課題に応えるため、2016年6月より「太陽の元気プロジェクト」を開始し、「ひまわり認知症予防保険」を始めとした認知症保険や先進的な技術を活用した商品一体型のサービスの提供、さらに、当社の保有するビッグデータを活用した研究機関との共同研究に取り組んできました。

商品一体型のサービスとして、歩行速度の計測や脳トレを通じて認知症・軽度認知障害の予防をサポートする「認知症予防アプリ」の提供や、簡易な血液検査でMCI（軽度認知障害）の発症リスクを判定する「MCIスクリーニング検査」を導入するなど、多くのお客様からご好評をいただいております。

今般、こうした社会的課題の解決への取組みを一層強化すべく、健康・医療等に関する調査・研究を専門的に実施する「株式会社太陽生命少子高齢社会研究所」を設立します。

研究所では、主に「疾病の予防・早期発見・早期治療」の観点から、学術機関等とビッグデータを活用した共同研究を行い、その成果を広く公表することで社会貢献を図ります。さらに、その共同研究の成果や、研究所が発掘する新技術・新サービス等を保険商品・サービスへ展開するなど社会実装を推進していきます。

また、健康・医療等に関する社外の有識者や専門家から構成するアドバイザリーボードを設置し、研究所の調査・研究について助言、情報提供をいただくことで研究の質の向上を図ります。

当社は、研究所を設立し、日々変化する社会環境を迅速かつ正確に捉え、幅広く情報発信していくことで、お客様のお役に立つとともに、社会にも貢献してまいります。

以上

(※1) 厚生労働省「令和元年（2019）人口動態統計の年間推計より。」

(※2) 内閣府「令和元年版高齢社会白書（全体版）」より。

ご参考

会社概要について

項目	内容
社名	株式会社太陽生命少子高齢社会研究所
所在地	東京都中央区日本橋2丁目11番2号
資本金	2,000万円
株主	太陽生命保険株式会社
設立日	2020年4月1日
代表	浅見 磨孝
従業員数	約10名
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none">・健康、福祉および医療に関する調査・研究およびコンサルティング・新たな保険商品や保険関連サービスの開発につながる新技術等の調査・研究・新技術の事業化に取り組む研究者・企業の活動状況の調査および当該事業の活用に関する提言

以上